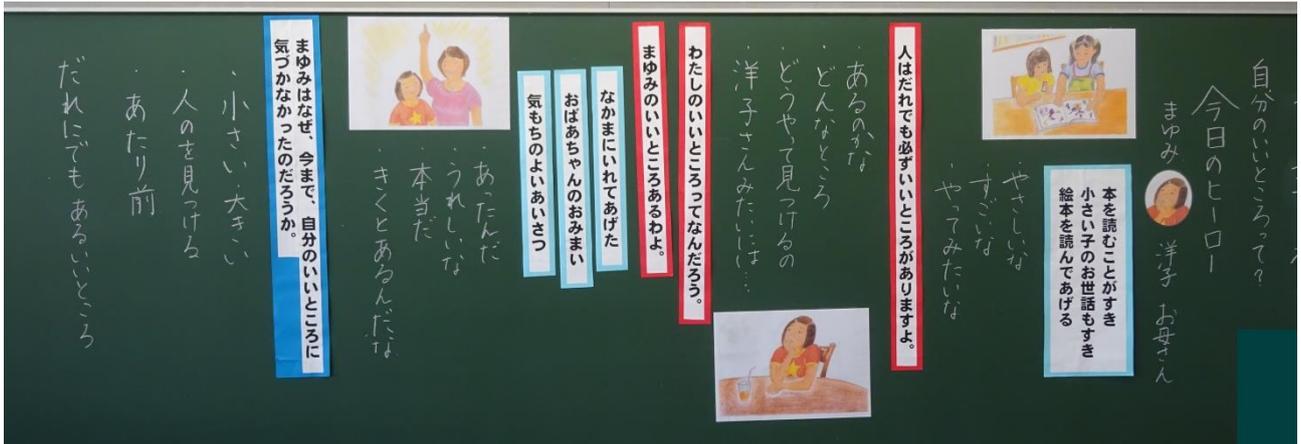


杉戸町立杉戸第二小学校

中学年部会

主題名 自分らしさ 1-(5)

資料名 「今日のヒーロー」(彩の国の道徳「みんななかよし」)



授業風景



ワークショップ型グループ協議

授業者から

「私の授業の観てほしいポイント」の説明、授業についての感想等

「私の授業の観てほしいポイント」

- ①自分との関わりで自分の考えをしっかりとつために
- ②学び合いを深めるために
- ③自己を振り返り、みつめるために

※詳しくは、「私の授業の観てほしいポイント」をご覧ください。

- ・本日の一番のポイントは「まゆみはなぜ今まで自分のいいところが見つからなかったのだろうか。」を話し合うところであった。自分と重ね合わせて考えさせられるとよかった。
- ・資料が手元にあると、国語の学習のような読み取りになってしまうため、話し合いに集中し考えを深めさせるために資料は持たせず、分割して提示した。

各グループからの発表

ワークショップ型分科会

- ・ 児童の学習の様子がとても素晴らしかった。
- ・ 柱ごとの判読が効果的であり、話のゴールがわからないことで、話し合いが活発になっていた。
- ・ 挿絵の表情から主人公の気持ちを読み取ることができていた。
- ・ 主人公のことを自分のこととして考え、話し合うことができていた。
- ・ 発問が適切であった。
- ・ 柱を教師から提示して進めるのはどうか。
- ・ 課題(中心発問)を出すタイミングがよかった。
- ・ 自分の考えを言えない児童への声かけが必要であった。
- ・ 子供から出た意見を強調して自己を見つめ直せるような声かけができるとよかった。
- ・ 家族からのカードが効果的であった。
- ・ 振り返りでアンケート結果を活用するとよかったのではないかな。
- ・ 自分のいいところを書くのが恥ずかしい児童への配慮が必要である。
- ・ ワークシートにもう少し工夫すると書きやすかったのではないかな。
- ・ 最後に交流の場をつくり、友達のいいところを言い合せるといいのではないかな。



指導講評

- 学級の児童はとてもいい子であるが、自分たちでそのことに気付いていないため、自尊感情を高めたいという教師の願いが表れていた。
- 資料を分割して提示する方法について
全て提示してから柱立てするのが一般的であるが、児童の実態、資料の特性から分割することも考えてよい。
- 少人数の話合いについて
自分の考えをもち話し合うことが必要。
子供の意見から教師がつなげて深めてあげられるような切り返しや補助発問が必要である。
- 「まゆみはなぜ自分のいいところが見つけれなかったのか。」
まゆみさんにとってあたり前のことだけれど、実はすごくいいことなんだということを強調してあげればよかった。
- 自己を振り返って書く場面では、もう少し自分から書けるような声かけが必要であった。
- 家族からのカードを見た子供たちの表情が素晴らしかった。
- 「特別の教科 道徳」の実施に向け
多様な指導方法として、ねらいを達成するために有効なものを取り入れる。例えば、問題解決型、アクティブラーニング、役割演技など。
道徳ノートの役割、ワークシートの工夫が評価につながる。
- 参会者の先生方の熱心な話合いで充実した研究協議会となった。

